

# 梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.6

# 市内全小・中学校で完全給食実施

1966(昭和41)年

学校給食共同調理場が完成した1966(昭和41)年4月、市内全ての小・中学校で完全給食が実施されるようになりました。完全給食とは、パン又は米飯、牛乳、おかずで構成される給食で、児童生徒の心身の健全な発達に貢献すると期待されました。当時の人気メニューはカレーシチューや揚げパンで、逆に人気なかったのは、脱脂粉乳(スキムミルク)でした。

人気メニューは今も昔も同じだね!



おうちの人には毎日のお弁当作りから解放されると喜ばれたよ!



## キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画『漫画でわかる梶田隆章先生とニュートリノ』のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



電ちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所所長・教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



## しがほつやまキッズ集合!

## おしえて『文化財』

## 獅子舞道具一式 (野田・宮鼻)

野田と宮鼻には獅子舞を始めた当時の道具が残されています。

### 野田

古い獅子頭をしまっていた箱は、大正12(1923)年の関東大震災で壊れてしまい、今はありませんが「寛永十二乙亥歳六月創始」と書かれていたそうです。寛永12(1635)年と言えば、江戸幕府第3代将軍徳川家光の時代です。代々、野田村の名主であった長谷部家の7代目平兵衛福兼の時に獅子舞は始められ、長谷部家はそれ以来ずっと獅子元(※)を続けています。古い獅子頭は隠居獅子として大切に保管されており、現在使われている獅子頭は又久元(1861)年に作られたものです。

※獅子元…ささら宿ともいう。道具を保管し、獅子舞の練習をしたり、獅子舞当日の支度をしたりする家。

### 宮鼻

宮鼻の獅子舞(休止中)は、はっきりとした記録がないのでいつから始められたか分かりませんが「寛永年間の創始」と伝えられています。宮鼻村・毛塚村・香仏寺村・田木村・岩殿村の領主であった旗本横田氏の代官を、寛永年間から明治維新まで務めた毛塚村の坂本家が獅子元でした。奉納する八幡神社が横田氏の信仰が厚かったことから、その由来を探る手掛かりになるのかもしれませんが。獅子舞道具は、現在、八幡神社の御神庫に保管され、春と秋の祭典の日に飾られます。隣に飾られる新しい獅子頭は、昭和28(1953)年、古いものとそっくりに作ったそうです。



### 獅子舞道具(宮鼻)

重箱獅子と言われる箱型の獅子頭です。祭りの度に、銀紙・金紙を張り替え、色を塗り直し、抜けた羽などを植え直しました。

### 山のおくにさん(宮鼻)

祭りの当日は、錦織の着物を着せ、緋の袴を穿かせ、頭には烏帽子をつけ、手に御幣と扇をもたせ、カシの枝に結わえつけます。獅子舞の行列の先頭に立って、道案内を務めます。これは宮鼻の獅子舞だけにしかありません。



獅子舞道具(野田)

獅子頭は、前半部分が桐で重箱型に作られ、頭に被る後半部分は竹籠に縄を巻いて作られています。



問 埋蔵文化財センター  
TEL 27-103333 FAX 27-10334